

わかつてくれないと苛立つより
わかるはずがないと割り切ること

まあ、多くの男性にとって女性には不思議な生き物でしょうね。毎日、女性と向き合っている私にとってもそうですから（笑）。なので「女はわかってくれない」なんて気持ちは忘れて、「わかるはずがない」と割り切るくらいが丁度いいと思います。だいたい男と女は、まったくの別物です。その理由のひとつに女性化粧をしますよね。「化けている」んですね、その時点で。真の表情を男性には見せてくれませんから。しかも女性社会の職場では典型かと思いますが、好きでない人にも平気な笑顔を見せられますよね。男性なら知らん顔するところでも。

女性とは相対的に誉めるべき
周りとの違いを見つけろ

また、男性は自分中心の絶対値で物事を判断しますが、女性は集団の中で自分がどの位置にいるか、ということに気にしますね。うちの患者さんたちもそうなんです、「若い時の自分の方が良かった」って。だから、女性は絶対値で自分を計れないから、周りとは比べようとしません。ですから、男性におススメするのは女性をほめるときには相対的にほめること。「みんなはこうだけど、君はみんなと違ってこうだね」という感じです。

『3回会って、初めてほめる』
これができるオトコでありたい

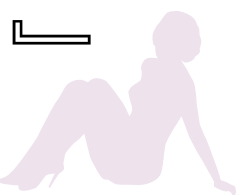
ほめると言えば、初対面の女性をいき

なりほめるのはNG。これは格言ですが『3回会って初めてほめる』と。例えば、服のセンスをほめる場合も「最初に会ったときの赤も似合うけど、2

度目の白も清楚で良かったね。それでいて、今日の黒も艶っぽくて綺麗だね。やっぱり君のセンスいいね」と。大切なのは相手をよく観察すること。そして誰でもじゃなくて、前から関心を寄せていた君だから誉めているというのを、間接的に伝えることです。女性にはほめられることだけでなく「私のことをどのくらい前から思ってくれていたの？」という時間の重みを重視するデリケートな性質なんです。

自分に酔っている女性たちを
応援できるかが大切

女性の不思議な部分はシヨッピン



『女性には不思議な生き物だ』

藤井靖成

筆者からもう一言

私は医者として、たくさんの人に接し、人が生きることずっと考えてきました。やはり輝いて生きるためにはわがままが必要だと思います。男であればカッコよく、女であれば永遠に若く美しくと。いつまでも悪あがきして欲しいですね。

著者プロフィール 藤井靖成

藤井クリニック院長。内科専門医であると同時に消化器内視鏡専門医・指導医として従事。胃がん、大腸がんの内視鏡治療・手術で磨いた技術と、豊富な経験をもとに美容外科の技術も習得。1万例の美容外科施術経験を積む。

にもあらわれますね。私もよく行くFrancfrancというお洒落な雑貨店が梅田にあるのですが、ここに来る女性はとても象徴的です。いろんな商品のあるお店なんです、みんなそんなに欲しい物があつて行っている訳じゃないんですね。むしろ、彼女たちはセンスの良い商品を手に取る自分の姿に酔っているところがあります。そんな彼女たちの姿はいじらしく、可愛らしく、また微笑ましくもありますね。そして、そんな女性たちを、男性は応援しないといけませんよ。私自身も男性として、美容外科医として、不思議な女性たちを応援していききたいですね。